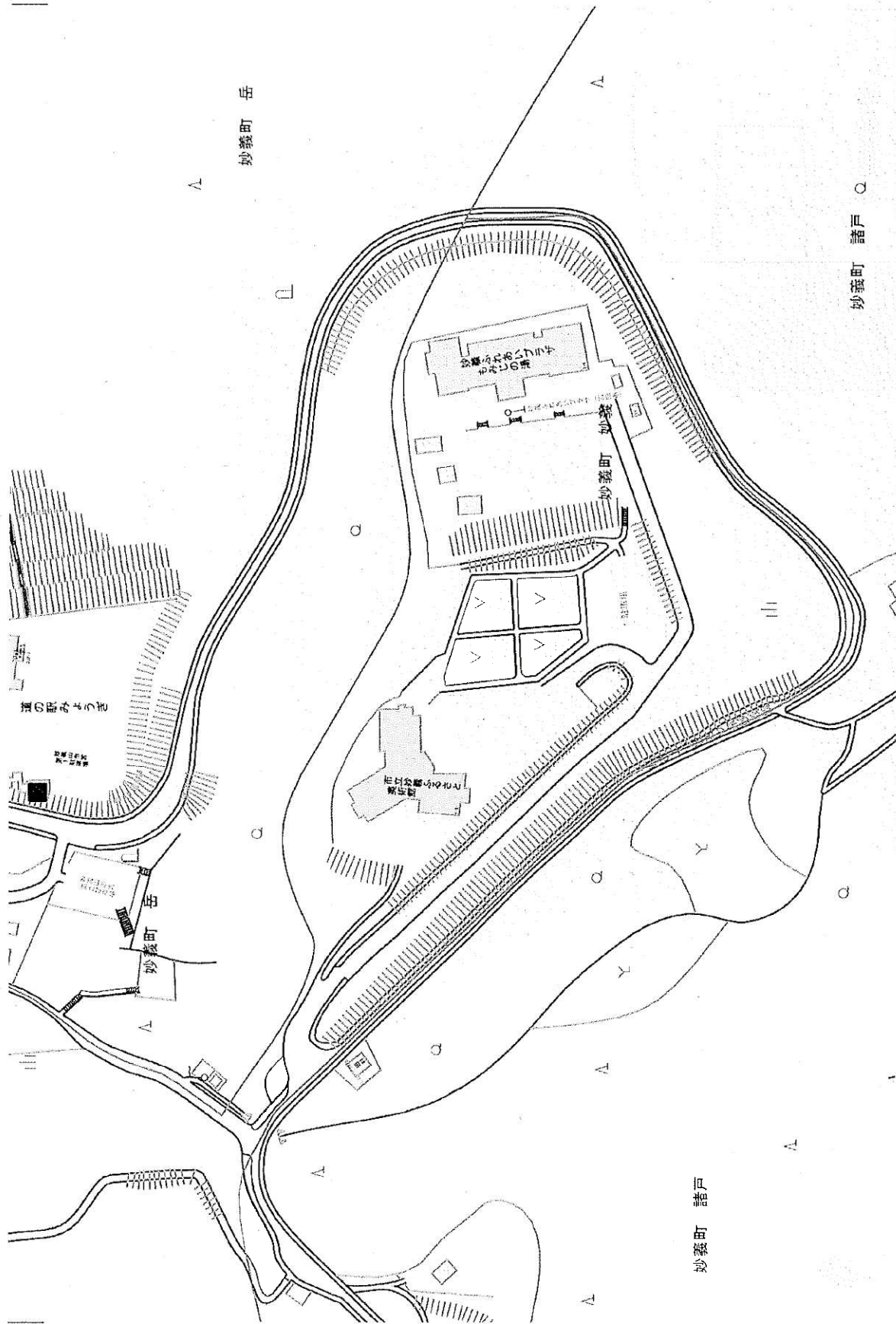


妙義パノラマパーク位置図



妙義パノラマパーク敷地図



妙義山パノラマパークからの妙義山の眺め、右の建物が妙義ふるさと美術館



妙義ふれあいプラザ（もみじの湯）の露天風呂から妙義山を望む



妙義神社本殿



人口・世帯の集計表

(住民基本台帳人口)

平成30年4月1日現在

1 人口・世帯数 (うち外国人)

(単位：人、戸)

人 口			世帯数
男	女	計	
24,274	25,000	49,274	20,038
(245)	(407)	(652)	(461)

2 前月分の人口動態内訳 (うち外国人)

(単位：人)

前月1日現在の人口	自然動態		社会動態		当月1日現在の人口
	出生	死亡	転入	転出	
49,372	23	54	239	306	49,274
(646)	(1)	(0)	(40)	(35)	(652)

3 年齢別人口

(外国人を含む)

(単位：人)

年齢	総数	男	女
0～4	1,581	829	752
5～9	1,942	984	958
10～14	2,180	1,131	1,049
15～19	2,457	1,241	1,216
20～24	2,361	1,181	1,180
25～29	2,124	1,115	1,009
30～34	2,221	1,161	1,060
35～39	2,544	1,350	1,194
40～44	3,303	1,696	1,607
45～49	3,384	1,679	1,705
50～54	2,995	1,525	1,470
55～59	3,138	1,598	1,540
60～64	3,490	1,760	1,730
65～69	4,327	2,174	2,153
70～74	3,348	1,641	1,707
75～79	2,858	1,357	1,501
80～84	2,272	953	1,319
85～89	1,678	604	1,074
90～94	820	255	565
95～99	224	36	188
100～104	27	4	23
105～109	0	0	0
110～114	0	0	0
総計	49,274	24,274	25,000

妙義パノラマパーク周辺施設平成29年度収支状況

妙義ふるさと美術館

収入の部

項目	金額	備考
観覧料	830,630	
展示室使用料等	234,400	
物品売上料	86,440	
計	1,151,470	

支出の部

項目	金額	備考
人件費	4,358,067	臨時職員4人
光熱水費	3,542,618	電気水道、プロパンガス
燃料費	756,347	灯油、公用車ガソリン
修繕費	1,325,095	
管理委託料	4,787,750	警備、清掃、自動扉、エレベーター、オイルタンク、消防設備
企画展委託料	545,360	
通信運搬費	169,216	
その他	978,021	消耗品、印刷費ほか
計	16,462,474	

差引き

1,151,470円-16,462,474円=-15,311,004円

妙義ふれあいプラザ(もみじの湯)

支出の部

項目	金額	備考
指定管理料	8,000,000	株式会社 荻野屋
修繕費	1,659,916	
計	9,659,916	

妙義山パノラマパーク

支出の部

項目	金額	備考
報償金	10,782	ボランティアへの軍手ほか消耗品支給
光熱水費	111,651	街灯、トイレ電気料
修繕料	210,000	駐車場土砂崩れ修繕
管理委託料	2,219,848	敷地内草刈り、植栽管理等
計	2,552,281	

妙義パノラマパーク周辺施設平成29年度入込客数

施設名	人数	備考
妙義ふるさと美術館	12,054	
妙義ふれあいプラザ(もみじの湯)	102,620	
道の駅「みょうぎ」	113,072	レジを通った客数
計	227,746	

提 言

これからの妙義ふるさと美術館について

－妙義山周辺地域と妙義ふるさと美術館の活用検討委員会提言書－

妙義ふるさと美術館がこれまで築き上げてきた、「妙義山を描く絵画展」の経験や地域の中での存在感を活かしつつ、より魅力的で楽しく、地域の中で愛され続ける場所とするため、地域住民と市役所若手職員が検討を重ねた結果をまとめ、以下を提言します。

平成 30（2018）年 3 月 16 日

妙義山周辺地域と妙義ふるさと美術館活用検討委員会
委員長 中島 清

提言1 | 絵画展示にこだわらない新たな機能の創造

■ミュージアムとしての機能を強化

絵画展の経験や収蔵作品、これまでの取組等を活かしつつ、より魅力的な施設とするため、絵画にこだわらず、映像や音楽、文学を含めたアート全般を視野に入れた企画展や展示内容の見直しが必要と考えます。

■五感を刺激する体験・参加機能を創造

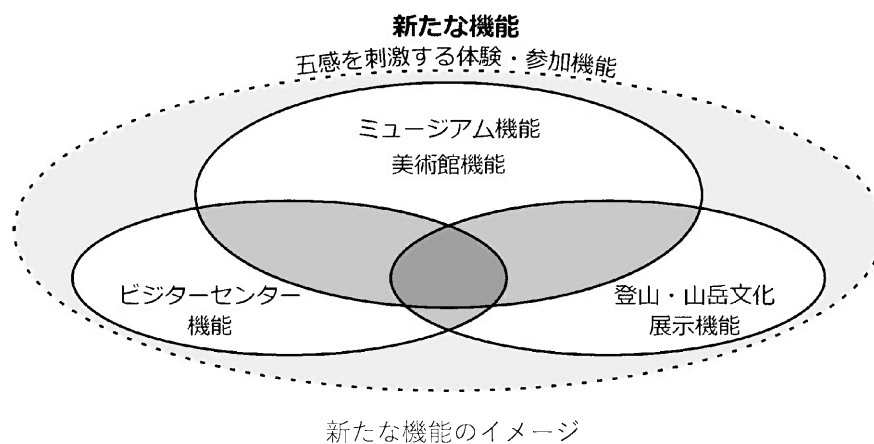
アートを鑑賞するだけでなく、ワークショップや体験、イベントなど、五感すべてを刺激し、参加できる場や機会を設けることが、何度も訪れたいくなる施設とするために有効と考えます。

■情報・活動・継承の拠点、ビジターセンター機能を創造

妙義山とその周辺地域の情報発信・集積、自然、文化、歴史、民俗、信仰などについて知り、楽しみ、次代へ継承する拠点であり、周遊の起点となるビジターセンター機能を整備することが必要と考えます。

■妙義山ならではの、登山・山岳文化の展示機能を創造

日本近代登山の発祥の地、それを担った根本清蔵、W.ウェストンの功績や、信仰、文化への影響についての展示をすることが必要と考えます。また、安全な登山のための技術講習や情報提供など、登山と文化を切り口とすることは、この場所ならではの特徴的な機能創造につながると考えます。



■「積極的なおもてなし」の開始

館内で眺望とともに、コーヒーなどの飲食（地元の水の使用、地元産のスイーツなど）が楽しめるカフェ、眺望を楽しむことに特化したベンチ、SNS 映えする撮影スポットの整備、わかりやすい案内板など、これまでにない「積極的なおもてなし」をスタートさせることが重要です。

このような「積極的なおもてなし」は、妙義山周辺地域全体での活力向上につながり、関連する事業全体をリードする取組となるため、市民力、地域力の発揮によって優先して行うべきと考えます。

■おもてなしの基盤となる情報発信の充実

ホームページや SNS の充実、動画の活用、周遊パンフレット等による情報を国内だけでなく、世界に向けて発信することが必要です。そのための協議の場や機会の定期的な設定も必要と考えます。

提言 2 | 入館したくなる・しやすい工夫

■名称変更およびシンボルとなるロゴマークの活用によるイメージアップ／シビックプライドの醸成

周辺施設との連携とバランスを踏まえた、端的で、わかりやすく、機能をイメージしやすい名称へ変更することにより、新たな取組の周知、認知度やイメージの向上、シビックプライド※の醸成が期待できると考えます。

さらに、新生施設のシンボルを設定し、その活用によるオリジナルグッズの展開を図ることで、施設のイメージアップと周知、シビックプライドの深化が期待できます。

■入館料の見直しや、入館へと誘導する仕組みを検討

だれもが気軽に入館し、より多くの人に活用される施設となるよう、入館料の無料化や無料鑑賞エリアの整備、他施設と連携した展示やイベント、共通券や相互割引券の導入などによる、周辺施設との一体的な活性化が必要です。それらについて、試行的な取組を優先的に行い、その後の検討の材料とすることで、より実効性の高いものができると思います。

また、周辺の他施設や駐車場から館内への誘導性を高め、「入ってみたい・みよう」と思わせる仕組みづくりも必要です。

■イベント等にあわせた柔軟な開館時間

夜間のイベントや体験会の開催を想定し、柔軟な開館時間の対応による「特別な時間」の設定が有効と考えます。

提言 3 | 推進体制の整備

■効果的・効率的な実践につなげるためのチームを設置

効果的・効率的な実践につなげるため、中核となるチームを設置することが必要です。チームは、地域住民をはじめとする多様な視点を持つメンバーによって構成されることが重要です。

※シビックプライド：シビック（civic：市民の、都市の）＋プライド（pride：誇り）を合わせた言葉。この提言書では、従来の日本語の「地域への誇り」や「郷土愛」をさらに一歩進め、地域住民や市民一人ひとりが当事者意識を持って自発的に妙義ふるさと美術館や妙義山周辺地域の魅力の向上、観光客の誘客、地域活性化に参加する意識を意味します。

スケジュール | 特別な5年間に向けたスケジュールの提案

提言内容を実現化するための具体的なスケジュール案を以下に示します。

このスケジュール案は、2019年4月に妙義荒船佐久高原国定公園指定50周年、同年6月に富岡製糸場世界遺産登録5周年、さらに2023年に妙義山史跡名勝天然記念物指定100周年をむかえることを踏まえ、この「特別な5年間」をまたとない好機ととらえ、設定したものです。

2018年度から2019年度にかけて、先行事例や実現性の評価、既存の活動や催しとの連携について調査と検討を行うとともに、段階的・部分的な実施、試行を進め、2020年度以降に新生施設として生まれ変わることを想定しています。

	2018年度	2019年度	2020～2023年度
提言1 絵画展示にこだわらない新たな機能の創造			
■ミュージアムとしての機能を強化	・調査・検討 ・段階的に実施	・段階的に実施	・充実化
■五感を刺激する体験・参加機能を創造	・調査・検討 ・段階的にイベント等を実施 ・既存イベントとの連携	・段階的にイベント等を実施 ・既存イベントとの連携	・充実化
■情報・活動・継承の拠点、ビクターセンター機能を創造	・調査・検討	・内容の検討 ・準備 ・国・県や関係機関との調整	・開設
■妙義山ならではの、登山・山岳文化の展示機能を創造			
■「積極的なおもてなし」の開始	・調査・検討 ・段階的に実施	・段階的に実施 ・準備 ・担い手の育成	・充実化
■おもてなしの基盤となる情報発信の充実	・調査・検討 ・既存状況の確認 ・段階的に実施	・段階的に実施	・充実化
提言2 入館したくなる・しやすい工夫			
■名称変更およびシンボルとなるロゴマークの活用によるイメージアップ／シビックプライドの醸成	・調査・検討	・名称検討 ・新名称決定 ・ロゴマークの募集 ・ロゴマーク決定 ・グッズの検討・開発	・新名称のPR ・ロゴマークのPR ・段階的なグッズ展開
■入館料の見直しや、入館へと誘導する仕組みを検討	・調査・検討 ・試行の検討・実施	・段階的に実施	・充実化
■イベント等に合わせた柔軟な開館時間			
提言3 推進体制の整備			
■効果的・効率的な実践につなげるためのチームを設置	・設置・活動	・活動・検証	・活動・検証

1 この提言について

1-1 本委員会の目的

本委員会（妙義山周辺地域と妙義ふるさと美術館活用検討委員会）は、妙義ふるさと美術館の活用に重点を置きつつ、妙義山周辺地域の魅力の向上、観光客の誘客、地域活性化などについて協議を行うことを目的として、地域住民と富岡市若手行政職員を中心に組織されました。

1-2 これまでの協議経過

平成 29（2017）年 11 月より平成 30 年（2018）年 2 月まで計 4 回の検討委員会を開催し、協議を重ねてまいりました。協議においては、年代や立場などにとらわれることなく、300 を超える多様な視点によるアイデアが示され、具体的な方策について検討がされました。

本提言書は、これまでの協議の成果をとりまとめ、拠点施設としての妙義ふるさと美術館の機能強化を図るとともに、新たに創造する魅力を国内だけでなく、世界に発信するための基本的な方向性や具体的な事業について提言するものです。

妙義ふるさと美術館や妙義山周辺地域の具体的な活用方策を検討・実施していく中で、この提言が十分に活用されるよう要望します。そして、妙義山周辺地域が地域住民はもちろんのこと、富岡市民の誇りとなり、市内外から多くの人を訪れる魅力的な地域として持続的に発展できるよう、優先順位や効果検証などを考慮しながら、市民協働による積極的な取組が進められることを期待します。

1-3 現状と課題

本委員会では、協議を進めるにあたり、現状と課題として以下の 5 点を共有しました。

- ① 妙義山自体の知名度は高く、多くの観光客等が妙義山周辺地域を訪れている（周辺地域の年間入込み客数は富岡製糸場に匹敵）
- ② 妙義ふるさと美術館の入館者数（年間約 1 万人）は同種の施設と比較して特に少ないというわけではない
- ③ 妙義山周辺地域の入込客数の季節変動が大きく（夏・冬が少ない）、ピークは 11 月
- ④ 妙義山は知られていても、富岡市としてあまり認識されていないのではないか
- ⑤ 妙義神社、道の駅みょうぎ、妙義ふれあいプラザ、旅館などエリア内の主要な施設、さらに富岡製糸場など市内の主要な施設との連携が十分とはいえない

1-4 提言の範囲

妙義ふるさと美術館の機能強化を図るためには、(1)施設自体、(2)妙義山周辺地域全体の両面の検討が必要です。そして、(2)の機能強化を図るためには、(1)に対して地域住民や市民が誇りを持てる施設として機能強化を図ることが重要です。このようなことを踏まえ、本提言書は(1)施設自体の機能強化を中心にとりまとめ、(2)妙義山周辺地域全体の機能強化については、来年度以降、引き続き協議を進めることとしました。

1-5 目標の設定

本提言書を取りまとめるための前提として、妙義ふるさと美術館の機能強化に向け、以下の3つの目標を設定しました。

- ① 来場者数が増加すること
- ② 主要な周辺施設との連携を強化すること
- ③ 地域住民や市民のシビックプライド醸成のための核・きっかけとなること

1-6 「妙義ふるさと美術館」の位置づけー妙義山周辺地域の中核ー

妙義ふるさと美術館の位置づけとして、中核施設を目指すのか、それとも他の周辺施設とともにエリアを構成するさまざまな施設の中の1要素とするのかによって、今後進めるべき展開の方向性が変わると考えられます。本委員会では、当初の目的に沿って「妙義山周辺地域の中核（拠点）施設」として位置づけるべきとの認識を改めて共有しました。この認識のもと、来年度以降は、対象を妙義山周辺地域に広げ、引き続き協議を進めることが必要と考えられます。

<妙義ふるさと美術館の位置づけ>

周辺地域を構成する一施設
(one of them)



周辺地域の中核（拠点）施設
(core, base, hub, foothold)

【妙義山周辺地域と妙義ふるさと美術館の活用検討委員会提言書 別添資料】

本委員会では、妙義ふるさと美術館の機能強化を図るために、施設自体の機能強化はもちろんのこと、妙義山周辺地域全体の機能強化が不可欠であるとの認識のもと、次年度につながる協議として、妙義山周辺地域の振興についても検討を行いました。主な具体的提案を以下に示します。また、すべての意見を巻末に添付します。

＜具体的提案＞

- ・ 絵画にこだわらず、さまざまなアートや文化的な視点で、独自の魅力的な企画展の開催や常設展示の見直しを行う
- ・ 群馬県や富岡市にゆかりのある作家の企画展、作家や専門家等によるワークショップなどを開催する
- ・ 妙義山や山岳をモチーフにした作品を収蔵する他の美術館との交流・連携イベントを開催する
- ・ 入場料無料化や無料鑑賞エリアを整備し、誰でも気軽に入場できるようにする
- ・ 駐車場のレイアウトなどを見直し、館内への誘導性を高める
- ・ 小・中学生や高校美術部など、子ども達が美術作品に触れ、学び、活用できる機会を提供する
- ・ 30年以上続く絵画コンテストの経験を活かし・広げる
- ・ ミュージアムショップを整備する
- ・ 安中市、下仁田町との連携により「妙義山ビジターセンター」を整備し、情報発信や安全な登山のための啓発、交流の拠点化を図る
- ・ 「日本近代登山の父」と言われるウェストンと根本清蔵に関する展示を行う
- ・ ウェストンにちなんだ上高地（長野県松本市）との交流・連携イベントを開催する
- ・ 眺望や撮影を楽しめる場の設定や、機会を提供するポイントを整備する（眺望を楽しむためのベンチ、撮影に適した場の整備、SNS映えを考慮した設定、夜景・星空観察等）
- ・ 登山、ウォーキング、健康づくりなど、さまざまなレベルに合わせたコースの設定や登山技術の向上のためのイベントの開催、情報発信機能を整備する
- ・ 独自の山岳・散策ガイドの養成と派遣機能を整備する
- ・ 妙義山周辺地域の歴史や文化、自然、民俗に関する展示を行う
- ・ 地域の歴史的・文化的資源の見直しと関連グッズの商品化を行う
- ・ 「妙義学」の創出や検定制度を導入する
- ・ 地元幼稚園や小・中学校などの授業で訪れる機会を増やし、活用できる郷土史教材を作成する
- ・ ロックやジャズ、クラシックなど多ジャンルの音楽や舞踊・ダンスなどのイベント（フェス、コンサート、鑑賞機会）を館内や駐車場等を中心に開催する
- ・ 妙義をテーマにした俳句や短歌、詩、楽曲などのワークショップや作品募集などを行う
- ・ 絵画や彫刻などの創作体験教室やセミナーを開催し、子どもから大人までアートに親しむ機会を設ける
- ・ 妙義山の持つ荘厳な雰囲気を生かした「パワースポット」の体験コースやメニューを整備する

- ・妙義山のダイナミックな景観を鳥の視点で楽しめる季節ごとの空撮動画（ドローン等の活用）を作成し、鑑賞できるようにする
- ・星空観察会の充実を図る
- ・キャンプ、グランピング、バーベキュー、アスレチックなどのアウトドアレジャーの場として楽しめるようにする
- ・ウォーキング、ロッククライミング、ボルダリング、ヨガ、ラジオ体操など、誰でも参加できる体験コースやメニューを整備する
- ・開館時間の延長や夜間展示など、平時と異なる「特別な」時間設定を活用する
- ・妙義山ならではの公園施設等を整備し、親子で楽しめるようにする
- ・コーヒーなどの飲食・喫茶（地元の水・スイーツなど）を提供し、休憩施設としての機能向上を図る
- ・ホームページや SNS の充実と活用を図る
- ・動画の配信を行う
- ・名称を「妙義ミュージアム」などと改称し、認知されやすくする
- ・「妙義山」「ふるさと」以外のテーマやコンセプトを設定する
- ・ライブカメラを設置する
- ・ロゴマークやオリジナルグッズを作成し、活用する
- ・道の駅みょうぎ周辺に案内板を設置・充実する
- ・周辺施設との共通券や相互割引券を導入する
- ・周辺施設との一体感醸成のために協議する場や機会を定期的に設定する
- ・富岡製糸場や市立美術館との連携（共通チケット、割引サービスなど）を図る
- ・（地域住民による）周遊パンフレットやガイドブックを作成する
- ・道の駅みょうぎ、妙義山「大の字」、JR 松井田駅などと妙義ふるさと美術館を効率的につなぐ仕組み（例：連絡通路・ロープウェーやゴンドラの整備）
- ・眺望を活かす仕組み（例：360度回転する展望台の設置）

<個別意見（第2回委員会ワークショップより）>

NO	①妙義を市民の誇りにするには（夢）	②ふるさと美術館の夢（活用策）	③ふるさと美術館周辺の夢（パノラマパーク、眺望、駐車場など）	④周辺施設とのつながりの夢（もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など）
1	自然（妙義山）を大切にす る	-	気軽にキャンプが楽しめる 広場（理想はグランピン グ）	道の駅からふるさと美術 館、そして「大」の字まで ケーブルカーかリフトをつ くる
2	自然を活かした観光地を整 備していけるといいと思 います	-	素晴らしい眺望を活かすキ ャンプができるといいと思 います	ケーブルカーやロープウェ ーで眺望を楽しむ施設
3	自然しかないという感 じです	登山家へのゲストハウスや ウェストンの記念像や石	キャンプ場もいいです。パ ーベキューもできるといい	-
4	自然を味わいながら施設を 周れる場所。自然は残した い	-	キャンプ施設も良い。アス レチック（滑り台）などほ しい	「大」の字以外のアピール できるものをつくる（SNS 映えするような）
5	-	-	子ども（家族）が遊べる広 場（公園、キャンプ、アス レチックなど）をつくる。 ロープウェーの発着点にす る。「大」の字まで行けま す。	-
6	妙義神社のすばらしさ	展望ホールで展覧会をして 市民に来てもらう	ふるさと美術館から「大」 の字へロープウェー	旅の目的地になるようにす る
7	（同じ）妙義神社のすばら しさ	ホールのカフェ化。夜景も 見れるように夜の営業もす る	（同じ）ふるさと美術館か ら「大」の字へロープウェ ー	「富岡市に来たら製糸場と 妙義」という観光地がいい です
8	神社のアピール。集客努力	お酒を飲めれば宿泊につな がる	ロープウェーの発着点とし て公園施設はほしい	東京から1時間で来られる ので、ここを目的地にする のは難しいかな
9	魅力あるホームページを作 る	（同じ）お酒が飲めれば宿 泊につながる	（同じ）ロープウェーの発 着点として公園施設はほし い	JR、上信の両方からアクセ スできる手段がほしい。車 がなくても地域を周れる要 素
10	パワースポットとして若者 を集める	-	ロープウェーの終点を魅力 あるものに	-
11	夜間ウォークを復活させ る。妙義山を知る機会を多 くつくる。小・中学校の教 育課程で必ず富岡市民が触 れる機会をつくる	若手・無名のアーティスト の発表や制作の場として提 供	家族連れをターゲットにし た観光地の整備	ゴルフ客が立ち寄る観光ル ートの提案
12	（同じ）夜間ウォークを復 活させる。妙義山を知る機 会を多くつくる。小・中学 校の教育課程で必ず富岡市 民が触れる機会をつくる	有名アーティストを呼ぶ	-	-
13	（同じ）夜間ウォークを復 活させる。妙義山を知る機 会を多くつくる。小・中学 校の教育課程で必ず富岡市 民が触れる機会をつくる	将来画家を目指す若者に教 室を開く場とするといいと 思います	家族連れをターゲットにし た観光地に賛成です。遊ん だ後はお風呂に入れるとい い	ゴルフ場から離れている し、高速の利用は富岡ICの ほうが松井田ICより多いと 思う
14	（同じ）夜間ウォークを復 活させる。妙義山を知る機 会を多くつくる。小・中学 校の教育課程で必ず富岡市 民が触れる機会をつくる	（同じ）将来画家を目指す 若者に教室を開く場とする といいと思います	家族向け施設。アスレチッ ク、キャンプ、巨大迷路	ゴルフ場、ホテル、旅館、 神社を周遊できるバス・タ クシー

NO	①妙義を市民の誇りにするには(夢)	②ふるさと美術館の夢(活用策)	③ふるさと美術館周辺の夢(パノラマパーク、眺望、駐車場など)	④周辺施設とのつながりの夢(もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など)
15	(同じ・いいですね) 夜間ウォークを復活させる。妙義山を知る機会を多くつくる。小・中学校の教育課程で必ず富岡市民が触れる機会をつくる	(同じ・いいアイデアだと思う) 将来画家を目指す若者に教室を開く場とするといいと思います	(同じ) 家族向け施設。アスレチック、キャンプ、巨大迷路	ホテルでは食べられない食材を出す
16	妙義山、妙義の自然を活かした有名観光地にする	企画展の回数を増やす。常設展を廃止し、子どもが楽しめる場所にする	総合公園のような複合施設化。子どもの遊び場を特化する	-
17	-	親も子どもも楽しめる美術館があるといいと思います	周辺には子どもが遊べる場所が必要	-
18	もっと妙義神社をアピールする。知っている程度の感じ。昔、ディスカバージャパンの広告で電車の中にあつた妙義神社はカッコよかった	常設展もありで、企画展を増やす	(同じ) 周辺には子どもが遊べる場所が必要	製糸場～こんにやくパーク～松井田駅～妙義～横川等をつなぐバスやハイヤーなど
19	「知る人ぞ知る」というコンセプトは良い。ただし、地元では当たり前のこととして知っている場所	子ども向けの体験型の展示。カフェの併設で親も休める	(同じ) 周辺には子どもが遊べる場所が必要	(同じ) 製糸場～こんにやくパーク～松井田駅～妙義～横川等をつなぐバスやハイヤーなど
20	「妙義山」という言葉が発せられるようにする	-	(同じ) 周辺には子どもが遊べる場所が必要	-
21	妙義神社をもっとアピールしてもらいたい	有名画家とのコラボレーション	コスモスで使っている場所を小高い芝生の丘にして、子どもが遊べるようにする	複合クーポンの発行。客の周遊化
22	神社から駐車場(道の駅)をつなぐ道に人が立ち寄れるもの	-	公園とする。子どもの遊び場。滑り台、ふわふわドーム、噴水	宿泊者には割引券
23	春夏秋冬でイベント(祭り)を開催。トイレもきれいになったし、秋だけじゃなくて、しだれ桜はすぐくよいので春にも祭りを開催する	予算的に無理かな	子どもが汚れてもお風呂がある	妙義観光地のスタンプラリーを開催(妙義にちなんだ景品あり)
24	「パワースポット」として若手をターゲットにする	日本三奇勝という点を大々的に打ち出し、その美術館ということで画家・美術大学に働きかける	遊具を充実させる	(同じ) 妙義観光地のスタンプラリーを開催(妙義にちなんだ景品あり)
25	-	画家に限らず、マンガ家ともコラボ	-	サービス券を出せばまた来るからよいいと思います(次回へのつながり)
26	妙義山を絵だけでなく、文学や造形のモチーフにしたイベントとして市民が参加する(みょうぎアートフェス)	動画の展示。妙義登山の様子を撮った動画を「作品」として展示する。アクションカメラ(ゴープロなど)をレンタルで貸し出す	周りは四季折々の花に彩られ、思わず写真を撮りたくなる、子どもがワイワイできる場所	周辺施設をすべてまとめて1つの名称を付ける(妙義～パークのような)
27	アート←他にないもの(総合的に)	(同じ) 動画の展示。妙義登山の様子を撮った動画を「作品」として展示する。アクションカメラ(ゴープロなど)をレンタルで貸し出す	(同じ) 周りは四季折々の花に彩られ、思わず写真を撮りたくなる、子どもがワイワイできる場所	(同じ) 周辺施設をすべてまとめて1つの名称を付ける(妙義～パークのような)

NO	①妙義を市民の誇りにするには(夢)	②ふるさと美術館の夢(活用策)	③ふるさと美術館周辺の夢(パノラマパーク、眺望、駐車場など)	④周辺施設とのつながりの夢(もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など)
26	妙義山を絵だけでなく、文学や造形のモチーフにしたイベントとして市民が参加する(みょうぎアートフェス)	動画の展示。妙義登山の様子を撮った動画を「作品」として展示する。アクションカメラ(ゴープロなど)をレンタルで貸し出す	周りは四季折々の花に彩られ、思わず写真を撮りたくなる、子どもがワイワイできる場所	周辺施設をすべてまとめて1つの名称を付ける(妙義〜パークのような)
27	アート←他にないもの(総合的に)	(同じ)動画の展示。妙義登山の様子を撮った動画を「作品」として展示する。アクションカメラ(ゴープロなど)をレンタルで貸し出す	(同じ)周りは四季折々の花に彩られ、思わず写真を撮りたくなる、子どもがワイワイできる場所	(同じ)周辺施設をすべてまとめて1つの名称を付ける(妙義〜パークのような)
28	夏はアクティブスポーツ、冬はアートで一年中楽しめる	ドローンによる頂上、裏妙義の映像をロビーで流す	(同じ)周りは四季折々の花に彩られ、思わず写真を撮りたくなる、子どもがワイワイできる場所	飲み会は妙義で (同じ)周辺施設をすべてまとめて1つの名称を付ける(妙義〜パークのような)
29	-	「妙義のパワーを全身で受けよう」などというイベントを仕掛け、館内の3階で行う。泊り込んだりする体験も考えられます	(同じ)周りは四季折々の花に彩られ、思わず写真を撮りたくなる、子どもがワイワイできる場所	もみじの湯の露天風呂からの夜景、パノラマパークから見る星空など、夜をテーマにした催して宿泊者を増やす
30	-	(同じ)「妙義のパワーを全身で受けよう」などというイベントを仕掛け、館内の3階で行う。泊り込んだりする体験も考えられます 体験コーナー(体で感じる)。	妙義 Rock フェス。岩と音楽と一緒に楽しめるイベントをする(歩いて、歌って、奏でて、踊る)	一体化による観光コースの設定(一泊二日)
31	妙義山、神社を中心に、その他の施設でのサービス	絵だけでなく、いろいろな芸術作品の企画展を開催する(具内ゆかりの作家、例えば山口晃など)	ボルダリング、ロッククライミングができるようにする(子どもの遊び場)	-
32	(同じ)妙義山、神社を中心に、その他の施設でのサービス	福沢一郎美術館とのすみ分け	(同じ)ボルダリング、ロッククライミングができるようにする(子どもの遊び場)	美術館から中之岳まで世界で一番長いリフトをつくる
33	「妙義学」を設定し、市民(大人も子どもも)が学び、妙義マスターとしてボランティアガイドやイベントボランティアとしてかわる	アンティークの登山グッズなどを展示してもおもしろい	ウェストン、根本清造の銅像の建立とともに、金鶏山筆頭岩をバックに記念撮影できるモニュメントをつくる	妙義エリア全体をフィールドとする山岳(アウトドア)フェスを開催する
34	妙義にかかわる学習施設。知名度アップ	もっと小中学生に来てもらう	上高地のウェストン祭と連携した妙義ウェストン祭を行う	ビューライドの広域版。温泉、食事付き
35	-	-	上高地など他の地域とウェストンを介した「山つながり」(情報共有も)	途中で温泉に入らないといけないビューライド
36	本州ではここしかない奇勝(日本三奇勝)という認識を持つ(山)。→誇り	-	暖かい季節は駐車場で山を眺めながらヨガイベントをする。終わったらもみじの湯で入浴して食事(みょうぎヨガラス)	全施設共通入場券

NO	①妙義を市民の誇りにするには(夢)	②ふるさと美術館の夢(活用策)	③ふるさと美術館周辺の夢(パノラマパーク、眺望、駐車場など)	④周辺施設とのつながりの夢(もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など)
37	「日本三奇勝」という表現を知らない富岡の人も多いと思います。富岡のそこらじゅうで「三奇勝」という言葉が見えると楽しいと思いました	コーヒーコーナーを入館者割引にする	ラジオ体操の場(同じ)暖かい季節は駐車場で山を眺めながらヨガイベントをする。終わったらもみじの湯で入浴して食事(みょうぎヨガクラス)	妙義だけでなく、市内の他の施設との共通入場券や、ぐるっと回れるコースの設定。安中、下仁田とのコラボもありではないでしょうか
38	妙義山を売り込む	コーヒーに使う水は妙義の銘水とし、おやつも用意。おやつは地元の材料を使って提供したい	もみじの湯でラジオ体操やヨガはとても面白いと思います	2市1町(富岡、安中、下仁田)周遊ツアー
39	妙義山をうたった「峨峨(がが)たる巖(いわお)」をもっとPRして、地元行事の式典の前に流したり、歌う	妙義山の水を使ったコーヒー	-	安中、下仁田とのコラボはいいと思います
40	妙義をバックに「ががたるいわお」をみんなで歌う会を開く	展望台が360度回る美術館。美術館自体が回る	-	-
41	妙義山の風景が日本中、世界中に認められること。訪れたいと思ってもらうこと	家族連れで一杯飲みながら3階からゆっくり景色を見るほっこりとした場	道の駅駐車場からケーブルカー設置。夏、冬のにぎわい	すべてがつながるイベントを開催(例えばクライミングや地学などをテーマに)
42	(同じ)妙義山の風景が日本中、世界中に認められること。訪れたいと思ってもらうこと	美術館プラスBar、ステキだと思います。おぎのやからデリバリーしてくれるといいです	道の駅の案内機能を強化し、ガイドも配置して、歩きたい、花を見たい、学びたいなど、いろいろなニーズに対応できるようにする。「夏も冬もいいよ!みょうぎ何でもガイド」	観光につなげる周遊コース
43	(同じ)妙義山の風景が日本中、世界中に認められること。訪れたいと思ってもらうこと	(同じ)美術館プラスBar、ステキだと思います。おぎのやからデリバリーしてくれるといいです	四季を通じて楽しめる仕掛け、体験	周辺施設のすべてを自然に周れるイベント
44	妙義がカッコよくデザインされたTシャツを市民みんなでカッコよく着て、外国へも情報発信する	(同じ)美術館プラスBar、ステキだと思います。おぎのやからデリバリーしてくれるといいです	せつかくなら「大」の字までケーブルカーで	「大」の字にサーチライトを当てる
45	「妙義」のブランド化	Barでは夜景や星空を楽しみたい。生のジャズ演奏やクラシックの日があってもいい	-	-
46	きれいな妙義、美しい妙義、自然を活かしたワクワクするような妙義	文化を発信する館。休憩もできる館。夏、冬の企画展を開催する	第1駐車場よりロープウェイによる一周(もみじの湯、神社等)	製糸場、貫前、丹生、神社・参詣(妙義)、景色(パノラマパーク)、温泉(もみじの湯)、旅館(宿泊)、道の駅(買物)の一連のコース
47	「妙義を愛でよう」というテーマで俳句や詩を市民から募集	「文化」というテーマでいろいろな文化の集まる場所にする。アーティスト(プロ、アマ)やアートに興味のある人が創作のセッションができる機会の設定(ワークショップ)。夏だけの合宿ワークショップなど	美術館展望台から見ると感動するようなパノラマパークづくり	ターゲットを絞ったパッケージツアー、いいと思います

NO	①妙義を市民の誇りにするには（夢）	②ふるさと美術館の夢（活用策）	③ふるさと美術館周辺の夢（パノラマパーク、眺望、駐車場など）	④周辺施設とのつながりの夢（もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など）
48	ここしかない、お得感のある体験ができる妙義（素材のある）	発信力のある美術館。ほっとできる定期的なミニライブ	妙義を眺めることに適した「妙義用ベンチ」を県産材、地元のデザインで作り、ベストな場所に置いて、みんなが座ってゆっくり感動できるようにする	年間を通して来客者を入れる（観光客）
49	外から「良い」と思われることが市民の誇りにつながると思いました	登山ファンがシビレルようなマニアックな企画展。登山の最新情報が分かる美術館	憩いの場、飽きない場で滞在時間アップ、ファミリー向け、花火	観光業者に売り込みをする。バスガイド等に施設からチップを出す
50	-	-	「妙義用ベンチ」面白いと思います	-
51	景色が素晴らしい。訪れた人が自慢し、その感想を広めていく	ゆっくりコーヒーかお茶を飲みながら過ごせるスペースがほしい	展望台から見える景色が特徴的なものにする	-
52	地元の人で妙義山の景色が悪いと思う人を聞いたことがない	ゆっくりと過ごすのも悪いとは思わないけれど、個人的には楽しく過ごすほうが好き。都市部の人やゆっくりにのほうが好きという人が多いと思う	写真を撮るのにオススメの場所を紹介	-
53	高速道路から妙義山を見て一度は来たかったという人が多い	「ゆとり」というものをどのような状況で求めるのか難しい	（同じ）写真を撮るのにオススメの場所を紹介。 ただ、美術館周辺に限定せず、市全体として実施してみてもいい	周辺施設で連携して（順番にするとか）、SNSでその時々魅力を発信していく
54	紅葉以外の妙義を知ってもらいたい	何かゆっくり飲み物でも飲みながらゆっくり過ごすのも良いと思う	撮影スポットの設置は良いと思う	連携するというのは、異種団体の場合、難しいと思うので、まずは顔合わせの場をつくってみてはと思います。地元イベントや地元だけのバーベキューの実施等
55	感想を広める場所や方法の整備	-	（同じ）撮影スポットの設置は良いと思う	-
56	人が今より来るようになれば自慢したくなる妙義山になる	妙義山の絵画は常に無料で公開すべき	美術館の駐車場、花畑はアスレチック広場にしたい	道の駅で販売する地元野菜の拡充
57	地元の人や観光客も SNS を通じて妙義の魅力を発信する	絵画にこだわらず、もっと若者向けの良いものを展示する必要がある	子ども連れでも来やすくなるので良いと思います	現在も実施しているけど、連携につなげるのが難しいと思う
58	高齢の方（自らも含め）の多くは SNS が不得意	美術館を無料にすれば来場しやすくなりますね。良いと思います。	子どもが遊べるものがあると、花が咲かない時期でも人が訪れると思う	-
59	人が集まる場にする方法論を考えてしまいます	誰でも作品を出展できるようにし、出展料をもらってはどうか（安く）	（同じ）子どもが遊べるものがあると、花が咲かない時期でも人が訪れると思う。昔はローラー滑り台があった	施設自体が少し狭いと思う
60	-	入場料を取らない方向は賛成ですが、そうすると規模縮小など、何か手立てが必要だと思います	アスレチックは古い	-

NO	①妙義を市民の誇りにするには（夢）	②ふるさと美術館の夢（活用策）	③ふるさと美術館周辺の夢（パノラマパーク、眺望、駐車場など）	④周辺施設とのつながりの夢（もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など）
61	「日本三大奇岩の山の1つ」の宣伝はおかしい。「日本で唯一の奇岩の山」であると宣伝すべき	美術イベントとしてオブジェみたいなものをつくる。それを展示することでフォトスポットとして人を集める	妙義山とその周辺の魅力をSNSを通じて定期的に発信する	-
62	「日本で唯一の奇岩の山」はキャッチコピーとして強いので、確かに興味がひかれると思う	中之条ピエンナーレのようなことを妙義で行う	自分はSNSに疎いのでよく分からない。妙義山を愛する会でもSNSに詳しい人がフェイスブックを立ち上げたけれど、まだ広がっていない	-
63	キャッチコピーで印象は大きく変わりますね。新しく考えてもいいかもしれません	中之条ピエンナーレを知らない	-	-
64	妙義周辺にそのキャッチコピーをまず掲示してはどうか	屋外のオブジェを数多く設置するのも良いと思う	（SNSの）効果は限定的だと思う	周辺で使える割引券を配る
65	「唯一の奇岩の山」というのは知らなかったです。確かに三奇勝の他の2つは、奇岩の感じではないですね	インスタ映えするようなものをつくる。高齢者への効果は限定的だが	SNSで広めたり、広めたいようなものがあればよいと思います	-
66	「妙義」の名を有名にする（良い意味で）	絵画展以外の行事開催（絵画教室や貸切使用等）	パノラマパークの貸し出し（企業や地元団体への活用場の場づくり）	もみじの湯等を拡大し、「あたご山」の一体活用
67	（同じ）「妙義」の名を有名にする（良い意味で）	絵画を中心としても、しなくても良いが、総合施設にする	バーベキューや花見の宴会が可能な施設の増設	各施設をバラバラにしない一体化利用
68	妙義を有名にする	絵画にこだわらず、若者受けの良いものを展示する	子どもが楽しめる施設をつくる	妙義に来た方が、どこか1つの施設を利用して帰ってしまわないように連携を強化する
69	知名度が上がれば嬉しいのでいいと思います	変わったイベントがあれば行ってみたいと思います	様々な目的の利用者が増えると思います	施設の拡大は滞在時間が延びるので良いと思います
70	（同じ）知名度が上がれば嬉しいのでいいと思います	有名な人を招いて講演を開く	いろいろなイベントができる場としての貸し出し	（同じ）施設の拡大は滞在時間が延びるので良いと思います
71	妙義山の景色をもっとたくさんの人に覚えてもらおう	絵画だけにこだわらず、若い人がもっと興味を持てるような展示を考えるべき	パノラマとして周辺の樹木を除く	周辺施設と連携してイルミネーションをする。関連性や物語性があれば寄ってみたいと思う
72	妙義山のある景色をたくさんの人に覚えてもらいたいですね	私も絵画より彫刻のほうが興味があります	（パノラマとして周辺の樹木を除くと）景色はきれいになると思う	（同じ）周辺施設と連携してイルミネーションをする。関連性や物語性があれば寄ってみたいと思う
73	（同じ）妙義山のある景色をたくさんの人に覚えてもらいたいですね	地元の美術部（中高生）の作品展を年1回程度のペースで開く	景観的にバランスを見ながら行えば、景色が見渡せるのは良いと思います	（同じ）周辺施設と連携してイルミネーションをする。関連性や物語性があれば寄ってみたいと思う ただし、イルミネーションは、収入を得ても黒字になるのは難しいので、さらにお金がかかっても良ければ

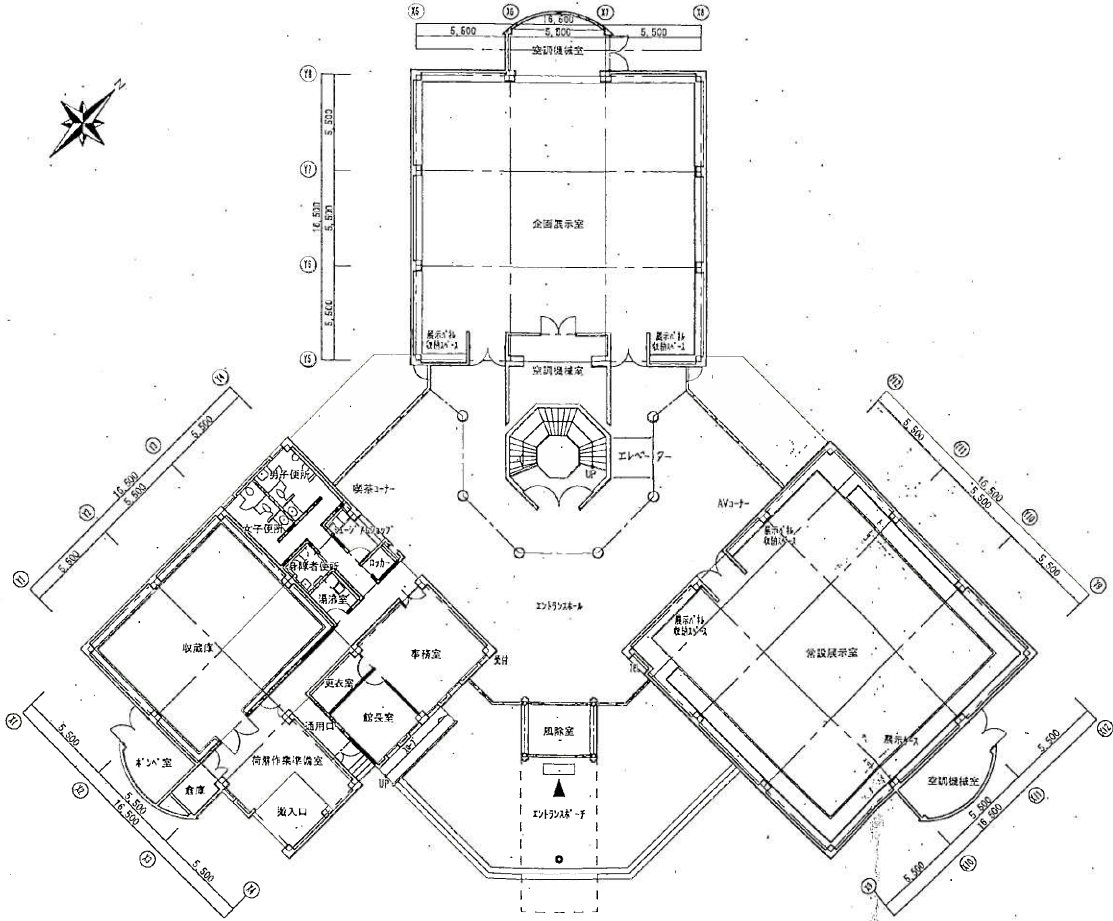
NO	①妙義を市民の誇りにするには（夢）	②ふるさと美術館の夢（活用策）	③ふるさと美術館周辺の夢（パノラマパーク、眺望、駐車場など）	④周辺施設とのつながりの夢（もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など）
74	（同じ）妙義山のある景色をたくさんの人に見てもらいたいですねただ地元の人ばかりの人が見ているのでは	絵画だけにこだわらないのは良いと思う	（同じ・よいと思います）景観的にバランスを見ながら行えば、景色が見渡せるのは良いと思います	（イルミネーションについて）物語に関連するのは良いと思う
75	たくさんの人に見てもらうのは当たり前だけど、その方法論が先に立ってしまう	美術、芸術にこだわりすぎる	-	周辺施設と連携してイルミネーションをする。関連性や物語性があれば寄ってみたいと思う ただし、お金はかかりそうだが
76	-	-	-	地元では近隣施設や店舗の領域を侵さず、個々の色を打ち出す（同じ物の販売や提供をせず、別の商売をする）風習だったので、活用についても複数で同じことをしない方がよいのでは。
77	妙義の自然を満喫できる施設、場所、店、カフェ等を設置し、滞在型の場所として整備したい	妙義の自然を集約したスポットにすると同時に、全国に妙義山の自然の素晴らしさを発信する拠点にしたい。絵画のみではなく、音楽会、セミナー等の活用もしたい	美術館ともみじの湯の間に屋根付きの渡り廊下	「妙義パーク」のように、山周辺で家族連れが一日中遊んでいられる（全体のテーマパーク）
78	妙義は自転車で登る人も多く、大会もある。そういう人が利用できる施設をつくる。自転車で来た人が食事・宿泊可能	パノラマパークは美術館3階からの眺望が素晴らしいので、館内で妙義山の勉強（絵、セミナー等）、登山に行く（登山の拠点、用品も貸し出す）	ヨーロッパにあるようなトンネル、エレベーター（エスカレーター）で自由に移動できるようにする（道の駅を山側に移設し、駐車スペースを広げる）	自然、健康などをキーワードにする
79	（同じ）妙義は自転車で登る人も多く、大会もある。そういう人が利用できる施設をつくる。自転車で来た人が食事・宿泊可能	高価な絵画1点あったら	（同じ）ヨーロッパにあるようなトンネル、エレベーターで自由に移動できるようにする（道の駅を山側に移設し、駐車スペースを広げる） 道の駅に来てても意外ともみじの湯や美術館があることを知らない人が多いかも	子ども、家族連れが楽しめる場づくりがほしい。ローラー滑り台、バーベキュー場、アスレチックなど
79	（同じ）妙義は自転車で登る人も多く、大会もある。そういう人が利用できる施設をつくる。自転車で来た人が食事・宿泊可能	高価な絵画1点あったら	（同じ）ヨーロッパにあるようなトンネル、エレベーター（エスカレーター）で自由に移動できるようにする（道の駅を山側に移設し、駐車スペースを広げる） 道の駅に来てても意外ともみじの湯や美術館があることを知らない人が多いかも	子ども、家族連れが楽しめる場づくりがほしい。ローラー滑り台、バーベキュー場、アスレチックなど
80	駐輪場が道の駅等に少ないように思うので増やしてみる	三奇勝、他の2つ（大分県の耶馬溪、香川県の寒霞溪）を取り上げた企画展「三奇勝展」	-	滑り台がほしい。今はお子さんとかは美術館に来る機会が少ないと思うので。軽くできる遊具もあたらうらしい

NO	①妙義を市民の誇りにするには(夢)	②ふるさと美術館の夢(活用策)	③ふるさと美術館周辺の夢(パノラマパーク、眺望、駐車場など)	④周辺施設とのつながりの夢(もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など)
81	市民に妙義について興味を持ってもらえるような取組をすることが必要	軽食を食べながら歩き回れる美術・博物館	パノラマパークの花畑だけでなく、駐車場にも花を植える	駐車場が狭く、待つ客が多いので、道の駅、もみじの湯、美術館を結ぶ歩道橋のようなものがほしい
82	妙義の魅力を発信	妙義山などの芸術に触れながら、フレンチ、イタリアンなどの料理も味わえるようにする。コンサートも開催する	イルミネーション効果で周りの木にLED照明	美術館に向かう道を歩きやすくする。歩道を広め、道の駅からのアクセスを良くする
83	静岡県民は幼稚園の遠足で富士山に登ったりする。環境学習も兼ねて園児や小学生の遠足で妙義山周辺を歩いてみては	(料理を楽しみながらコンサートをするにあたって)コンサートは市民が気軽に出演できるようなものにしては	美術館そのものにクリスマス等のイルミネーション(もしくは壁にツルや花などを伝わらせる)	(同じ)美術館に向かう道を歩きやすくする。歩道を広め、道の駅からのアクセスを良くする
84	子どもの頃から妙義山に親しむ機会を設けることは必要	コンサートは良いですね。あの広い空間でピアノとか聞きたい。飲み物であれば、飲みながら見たりはOKだと思う	特に秋から冬はイルミネーションで明るく暖かくするのがよい	「妙義トレイル」。道の駅から美術館をできれば折り返さず一周のルートに
57	妙義は富岡市にあることが周知されていない。富岡市民、県民、県外の人達に、妙義が富岡市にある楽しい地域であることを周知させる	妙義は自然が魅力なので、見るだけでなく、体験する仕組みをつくる。美術館内でプラネタリウム、外で観察会とかをする	美術家や前庭からの眺望は素晴らしいが、美術館は「垣根」があるので、もっとフリーに出入りできる方策がほしい	美術館を利用したらお風呂がお得にある券をつくる。せっかく近い場所にあるから。美術館で宿泊体験ができれば温泉にセットで行ってもらうこともできると思う
86	(同じ)妙義は富岡市にあることが周知されていない。富岡市民、県民、県外の人達に、妙義が富岡市にある楽しい地域であることを周知させる そのために、有機的に周遊できるパンフレット、地図等をさらに用意したい	春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の星空観察会	(同じ)美術家や前庭からの眺望は素晴らしいが、美術館は「垣根」があるので、もっとフリーに出入りできる方策がほしい	(同じ)美術館を利用したらお風呂がお得にある券をつくる。せっかく近い場所にあるから。美術館で宿泊体験ができれば温泉にセットで行ってもらうこともできると思う
87	妙義に住んでいる人、富岡に住んでいる人で一緒に冊子をつくる。魅力ブックみたいなもの	春・秋は暖かいのでパノラマパーク、秋・冬は寒いのもみじの湯でお湯につかりながら自然や星空観察会	眺望とプラスアルファとして、記念写真が撮れる場所を設定する	製糸場の招待券には福沢一郎美術館の招待券だけが付いている。妙義ふるさと美術館の券も付けるという手もセットとしてはありかも
88	市外から	夏はヘリポートにして遊覧飛行も	インスタ用の写真コーナー	特典をつけることも
89	もみじに映える妙義山を活かす	コーヒーが飲める場所。小中学生の来館者を増やす	妙義からの眺望をビデオ制作して世界に発信し、集客していく	平成の大改修をした妙義神社を活かしたルートをつくる
90	もみじの湯下に紅葉を植えて、花見ならぬ葉見ができるようにする。(お風呂から妙義山は見えない?)	小学校1・2年生くらい全員参加の妙義山写生大会	市民、県民はもとより、全国、世界に発信できる魅力づくりを進めたい。例えば、写真、絵画など〇〇スポット	妙義神社本殿裏からの登山ルート「本宮口」の整備(神社を通って登っていく)

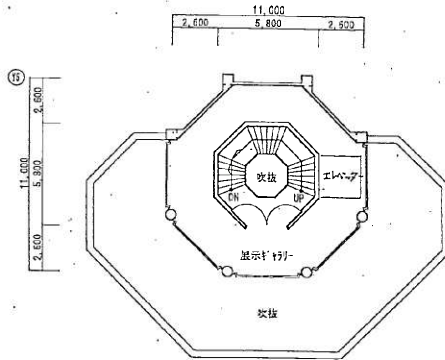
NO	①妙義を市民の誇りにするには(夢)	②ふるさと美術館の夢(活用策)	③ふるさと美術館周辺の夢(パノラマパーク、眺望、駐車場など)	④周辺施設とのつながりの夢(もみじの湯、道の駅、妙義神社、妙義旅館街など)
91	施設建設時に植栽されたものが、斜面崩落などにより喪失してしまっている様子。斜面補強も必要	子ども達に親しんでもらう時間を設けることは、次世代への橋渡しに重要。様々な機会を設けていく必要がある	映像になったら魅力がもつと伝わる場所ばかりです。妙義神社、妙義山、朝も夕方も夜も。動画は良いですね	妙義神社をライトアップする。特に秋から冬。その魅力、歴史などをビデオ編集して世界に配信する
92	(同じ)施設建設時に植栽されたものが、斜面崩落などにより喪失してしまっている様子。斜面補強も必要 地元で生活していても本当に素晴らしい場所だと思っている。例えば春は桜、新緑の山々、妙義神社、旅館からの桜の情景は素晴らしい	(次世代への橋渡しについて)現在も地元の小・中学生は活用しているが、もっと強く(広く)進めたい	ライブカメラを設置し、インターネット映像で流す	-
93	「妙義山の日」で祝日に	美術館という枠にとらわれず、「妙義山のあるところに行けば家族、仲間と楽しく過ごすことができる」と思っていたできるようにしていく	美術館全体をライトアップする。眺望を活かす	JR 松井田駅からロープウェーで道の駅まで来られるようにする。道の駅からトンネル、エレベーターで自由に行き来できるようにする
94	春夏秋冬、年4回設定して、季節に合った祭りを開催する	妙義山を描く絵画展の歴史、歩みを活かし、市民や子ども達がより活用できる場を考えていただきたい	ライトだと星空が見えなさそうで心配。かがり火を並べるのはどうでしょう。京都の祭りみたいな	(同じ) JR 松井田駅からロープウェーで道の駅まで来られるようにする。道の駅からトンネル、エレベーターで自由に行き来できるようにする 各施設が有機的に結びつくための方策としてgoodだと思います
95	祝日にするのは少々無理があるかも。妙義山の登山、歴史をより象徴する施設、スポットを。例えば根本とウエストンの像	家族や仲間と楽しめる、例えばバーベキュー。道の駅で食材を購入し、駐車場でバーベキュー(可能な曜日を決めて)	個性的な建築物なので、ライトアップすることには賛成。下から上がって来る時に見えるようにする	美術館から滑り台でもみじの湯へ
96	-	夜間の開館を検討	-	-
97	子ども達、学生に来てもらう場所にす	-	道の駅に来てルートがわかるような歩道を整備	-
98	-	-	情報が不足しているため、魅力ある企画を行う	-

富岡市立妙義ふるさと美術館平面図

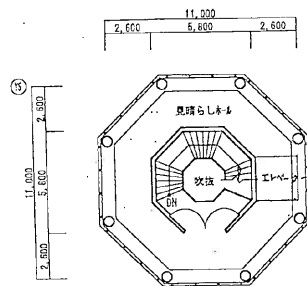
1階床面積：1,255.32㎡ 2階床面積：101.32㎡ 3階床面積 116.36㎡



1階平面図 S=1:200



2階平面図 S=1:200



3階平面図 S=1:200

妙義ふれあいプラザパンフ表面

折線



折線

折線



泉質

ナトリウム、塩化物、硫酸水素塩温泉
(弱アルカリ性高硫酸性硫黄水)

温泉効果

浄血剤、節減剤、固接剤
五十肩、運動麻痺など

露天風呂

たっぷりとした湯量の大浴場。

妙義山や間束平野が一望できる露天風呂。
妙義の大自然を感じながら天然温泉をご堪能ください。



折線



交通のご案内

上信越自動車道松井田妙義ICから7分
国道18号五箇交差点から10分
国道254号一之瀬北交差点から妙義町方面へ
20分
富岡製糸場から約30分

JR信越本線松井田駅からタクシーで10分
上信越自動車道松井田駅からタクシーで40分



お車で



電車で

ご利用について

開湯時間
10:00～20:00 (3/1～11/30)
10:00～19:00 (12/1～2月末)
ただし、季節により営業時間が変更になる
ことがあります。

入浴は閉館時間の30分前まで

休館日
毎週月曜日
(月曜日が祝日の時は、その翌日)
年末12/31 翌年始は営業いたしません。

妙義ふれあいプラザ 妙義温泉もみじの湯
〒379-0241 群馬県富岡市妙義町妙義1-1
TEL 0271-60-7600 FAX 0271-60-7601

妙義ふれあいプラザパンフ裏面



食事処「御山亭」
おまちでい

季節のランチ（メニュー内容は変わります）

地元のお店を連携したお食事から、おつまみ、デザートまで、豊富なメニューをお楽しみください。
*お食事のみでもご利用いただけます。
団体予約受付中（10名以降まで）



クリームあふまっ

ゆっくりくつろいでいただけるスペースとしてお宿の休憩室やコミュニティーションスペースがご用意です。

*入浴・休憩・団体予約も承ります。
（3部屋 20～50名）



休憩室

ホール

テラス

妙義温泉 もみじの湯

利用料金	
利用料金（3時間）	超過料金（1時間）
大人 510円	200円
小人 300円	100円
障害者 300円	100円
高齢者 300円	100円

*大人…中学生以上
*障害者…身体障害者手帳を受付に提示された方
*高齢者…70歳以上



妙義ふれあいプラザ
周辺施設



妙義山

日本三奇勝の一つに数えられる。新緑が彩り、紅葉が染み、季節ごとに美しい姿を見せてくれます。



妙義神社

約1500年の歴史を誇る神社。江戸時代中期の織細で美しい彫刻の数々に目を奪われます。
（国指定重要文化財）



道の駅みようぎ

妙義周辺の特産品を土産に、新鮮な野菜や珍しい工芸品は、当地ならではの品揃えです。



妙義ふるさと美術館

ふるさとの美しい風景。妙義山をテーマにした美術館。妙義山の美しい絵画が並びます。

妙義ふれあいプラザ図面

